



川崎市立多摩病院



聖マリアナ医科大学

34号

冬

たま病院ニュースレター

TAMA Hospital News Letter 2021



片頭痛について

神経内科 大熊 壮尚

今も昔も片頭痛に苦しむ人は、世間が考えている以上に多いと思います。古くはあの邪馬台国の卑弥呼も片頭痛に苦しんでいたのではないかとされています（卑弥呼が優秀な巫女さんであったのは片頭痛持ちだったからという説があります）。片頭痛がなぜつらいのか、それは日常生活支障度が高いからです。頭が痛いだけでなく、吐き気や嘔吐、めまいを伴うこともあり、しまいには動けない状態に陥るからです。このため「学校にいけない」「会社を休まざるをえない」となりますが、なかなか片頭痛を理解してくれる人がいないために、やむなく市販の頭痛薬を飲んで無理してしまうなんて人も少なくはないでしょう。片頭痛には色々なタイプがあります。片頭痛が起きる前に、きらきらした光や臭いの感じ方が鈍くなったり、騒音や人混みが気になったりなどの前兆があった後に頭痛が起こるタイプ、月経の前期、中期、後期のいずれかに起こったり、気温や気圧の変化で誘発されたり、あるいは突然前触れもなく頭痛が起こる場合もあります。片頭痛は、適切な治療を施すことで、日常生活が向上します。月に起こる回数が少なければ頓用薬（市販薬では手に入りません）の服用を、1週間に何度も片頭痛が起こるのであれば予防療法を導入することで、改善あるいは軽減することが可能になります。むしろ今まで毎日のように鎮痛薬を飲んでいるような人は、薬物乱用頭痛といって、鎮痛薬の服用がかえって頭痛を誘発することを認識すべきです。片頭痛を正しく診断し、適切な治療を受けることが、快適な日常を取り戻せる近道だと考えます。「たかが頭痛、されど頭痛」です。一度皆さんの頭痛について見直してみてもいいのではないでしょうか。

部門紹介

神経内科

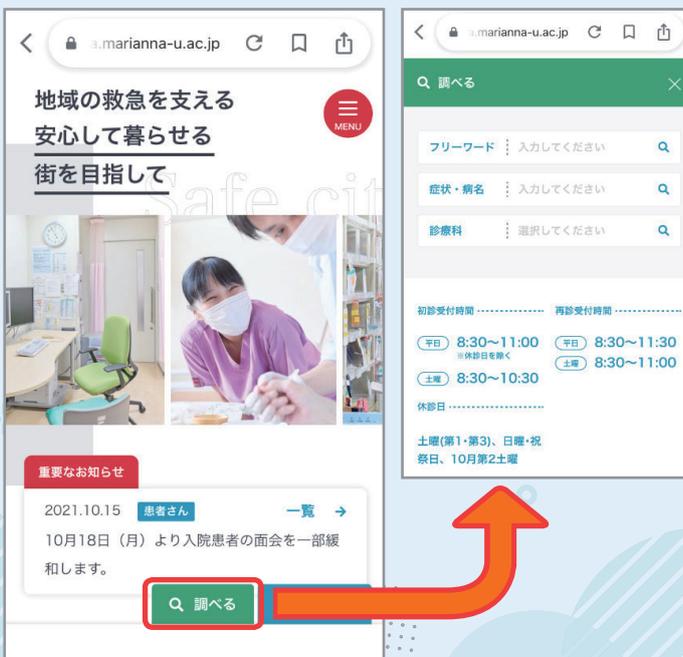


当院では、毎週火曜日の午後に、頭痛の専門外来を開設しています。最近では、月の片頭痛の発症頻度が高く、反復性の片頭痛や慢性片頭痛に対する新しい注射薬による予防療法も導入され効果をあげています。当院の頭痛外来では、皆さんの頭痛を正しく診断し、適切な治療を行うことを心がけています。頭痛に苦しむ方々、是非一度気軽に受診されてみてはいかがでしょうか。

ホームページをリニューアルしました

「地域の救急を支える安心して暮らせる街を目指して」をキーワードに当院の取組み特徴である「急性期医療・専門医療」、「救急医療・小児救急」、「災害医療」、「先進医療・高度医療」、「産科」の紹介ページを設け、調べるボタンより受付時間や診療科ページなど検索しやすくしました。

スマートフォン・タブレット端末ページ



ホームページは
下記より閲覧できます！

“多摩病院”で検索

多摩病院

または

QRコードより表示

